

光 あれば ：

千葉市美術館名品展

一九九八年一月二〇日^田—二月二五日^田

開館 一〇時—一八時 毎週金曜日は二〇時まで 入館受付は三〇分前まで

入場料 一般二〇〇(一六〇)円 大高生一五〇(一〇〇)円 中小生二〇〇(八〇)円

(内は三〇名以上の団体料金 毎週月曜日休館)

千葉市美術館

二六〇〇三 千葉市中央区中央二一〇八

ご案内：NTTハローダイヤル 〇四三一二七八六〇〇

写真 宮島達男 一地の天 撮影 内田邦幸

光 あれば…

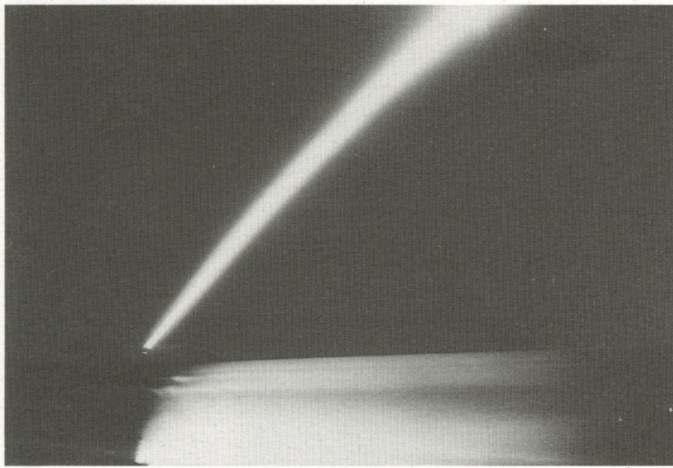
奈良の大仏様も最初は全身金が施されていたし、法隆寺の玉虫厨子も玉虫の羽に覆われて光っていた。ここで金色も玉虫色も色ではなく光であり、光は何か非日常的で崇高なイメージを与えてくれるものとして認識されている。時代によって変容した部分も勿論あるにせよ、人間の最も基本的な光への感覚を思い起こして一つの視点とするならば、古代から現代までの美術は、長い時間まただの事象にしか過ぎず、本質的には同じ意識を共有するはずである。

この展覧会には、光を含んだ表現の認められる江戸から現代の作品が集う。江戸時代の屏風などに見る金の使用、近代に明確になった光を描く試み、また発光体そのものを使った現代の美術など、時代も方法も違うけれど確かに光を表現している美術品を、同じ部屋に呼び寄せてしまったらどうだろう。光に対するどんな感覚が呼び覚まされてくるであろうか。

会期 1998年1月10日(土)~2月15日(日) 毎週月曜日休館
 開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで)
 毎週金曜日は10:00~20:00(入館は19:30まで)
 入館料 一般200(160)円/大・高生150(120)円/小・中生100(80)円
 内は30名以上の団体料金 千葉市内の小・中学生は第2・4土曜日無料
 問い合わせ NTTハローダイヤル 043-227-8600
 今後の催し 第29回千葉市民美術展 2月21日(土)~3月13日(金)



関主税《刻》1990(平成2)年



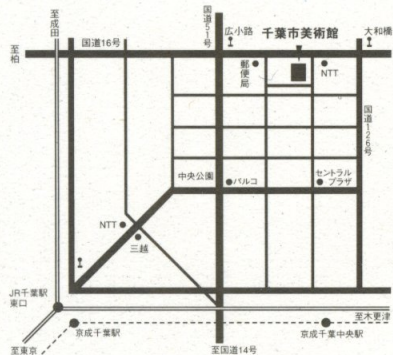
山崎博《Heliography》より
1978(昭和53)年

講座 現代美術と親しむ

現代の美術を分かりやすく解説する講座です。皆様の質問にもお答えします。連続講座ですが、各回ごとの参加も可能です。(入場無料)

- 2月8日(日) 現代美術はいかに生れたか 講師 慶應義塾大学助教授 近藤幸夫
- 2月14日(土) 美術と現代美術の間にあるもの 講師 千葉市美術館 半田滋男
- 2月15日(日) 現代美術と来館者のはざままで 講師 川村記念美術館 広本伸幸
- 2月21日(土) アート・イン・ユー Art in You 講師 美術家 宮島達男

*各回 午後2時より 於 千葉市美術館講堂(11階) 先着順約50名まで
 *詳細は千葉市美術館までお問い合わせ下さい 043-221-2311代



[交通案内]

- JR総武線千葉駅
- 東口より徒歩約15分
- 京成バス大学病院行(のりば⑦)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば⑦)あるいは小湊バス八幡宿行(のりば④)「広小路」下車徒歩1分
- 無料巡回シャトルバス「チーバス」(のりば⑨)「中央区役所・美術館前」下車(11:00-18:00の毎時05分と35分に発車、水曜日運休)
- 京成千葉中央駅より徒歩約10分

※なお来館者用駐車場が少ないため、自家用車での来館はご遠慮下さい。



広島新太郎《夕暮小景》
1916(大正5)年頃



無款《駿府城下行列図》
江戸時代初期